



## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月3日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ヤマシナ  
コード番号 5955 URL <http://www.kk-yamashina.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 堀 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 森嶋 誠一

TEL 075-591-2131

四半期報告書提出予定日 平成23年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	4,062	15.8	141	—	156	—	158	—
22年3月期第3四半期	3,508	△24.1	△69	—	△59	—	△69	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	1.14	—
22年3月期第3四半期	△0.50	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	11,494	8,642	75.2	62.11
22年3月期	11,021	8,484	77.0	60.97

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 8,642百万円 22年3月期 8,484百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	0.50	0.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,300	9.6	170	227.8	190	169.2	150	174.3	1.08

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】4ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名

）、除外 一社（社名

）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 143,611,765株 22年3月期 143,611,765株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 4,461,324株 22年3月期 4,461,323株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 139,150,442株 22年3月期3Q 139,152,787株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調にあった景気も足踏み状態となっており、雇用・所得環境においても、失業率が高水準で推移し、物価も緩やかなデフレ状況にある等引き続き厳しい状況にあります。また、先行きについても、景気改善のテンポの鈍化した状況がしばらく続くと考えられ、長期化する円高の影響や雇用情勢の悪化懸念もあわせ、依然として不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当グループにおきましては、受注の確保に努めつつ、利益面の改善を推し進め、徹底した原価低減と経費削減に努めました。その結果、売上高は4,062百万円（前年同四半期比15.8%増）、営業利益は141百万円（前年同四半期は営業損失69百万円）、経常利益は156百万円（前年同四半期は経常損失59百万円）、四半期純利益は158百万円（前年同四半期は四半期純損失69百万円）とそれぞれ増収・増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (金属製品事業)

主要取引先である自動車業界のエコカー購入補助金等による国内生産の増加を受け、売上高が好調に推移したことに加え、原価低減や販管費の圧縮に努めたことにより、特に収益面で好調に推移いたしました。

その結果、売上高は2,486百万円（前年同四半期比14.5%増）、営業利益は208百万円（前年同四半期比198.2%増）となりました。

#### (電線・ケーブル事業)

電線・ケーブル事業においても、受注高の回復に努めるとともに、原価低減と固定費の削減に注力し、収益面で改善が進みました。

その結果、売上高は1,399百万円（前年同四半期比25.5%増）、営業利益は45百万円（前年同四半期は営業損失23百万円）となりました。

#### (不動産事業)

不動産事業につきましては、賃貸市況は、空室率の上昇や賃料の下落等全体的に悪化傾向であり、当グループとしても稼働率の向上や賃料水準の維持に努めております。

その結果、売上高は167百万円（前年同四半期比4.4%減）、営業利益は105百万円（前年同四半期比8.9%減）となりました。

#### (その他の事業)

その他の事業においては、株式会社J-net レンタリース京都が自動車賃貸事業から撤退したことにより売上高は減少しておりますが、株式会社Y's アセットマネジメント（投資事業）におきましては、引き続き投資効率の最適化に注力いたしました。

その結果、売上高は8百万円（前年同四半期比82.7%減）、営業利益は3百万円（前年同四半期は営業損失15百万円）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.4%増加し、4,731百万円となりました。これは、受取手形184百万円、短期貸付金106百万円がそれぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.9%増加し、6,762百万円となりました。これは、建物227百万円、投資有価証券105百万円がそれぞれ増加し、土地が145百万円減少したこと等によるものであります。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ14.3%増加し、1,128百万円となりました。これは、短期借入金133百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ11.2%増加し、1,724百万円となりました。これは、長期借入金121百万円、リース債務99百万円がそれぞれ増加したこと等によるものであります。

### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ1.9%増加し、8,642百万円となりました。これは、利益剰余金が158百万円増加したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成23年1月25日に上方修正の予想を公表しておりますので、詳細につきましては、当該開示文書をご参照ください。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

#### ②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ③法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

なお、これに伴う損益に与える影響は軽微であります。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,725,015	1,844,631
受取手形及び売掛金	1,600,907	1,428,882
商品及び製品	493,045	514,826
仕掛品	212,164	197,527
原材料及び貯蔵品	432,960	407,691
その他	267,835	54,311
流動資産合計	4,731,929	4,447,869
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,408,315	1,188,291
土地	4,283,543	4,429,171
その他(純額)	694,087	611,658
有形固定資産合計	6,385,946	6,229,121
無形固定資産		
その他	84,149	107,714
無形固定資産合計	84,149	107,714
投資その他の資産		
破産更生債権等	1,829,795	1,829,795
その他	344,336	288,900
貸倒引当金	△1,881,545	△1,881,545
投資その他の資産合計	292,586	237,150
固定資産合計	6,762,681	6,573,986
資産合計	11,494,611	11,021,856
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	482,876	466,900
短期借入金	419,233	279,378
未払法人税等	12,427	20,431
賞与引当金	21,559	11,886
その他	191,997	208,702
流動負債合計	1,128,093	987,297
固定負債		
長期借入金	212,115	90,622
退職給付引当金	277,232	296,793
偶発損失引当金	5,011	6,880
その他	1,229,688	1,155,655
固定負債合計	1,724,047	1,549,950
負債合計	2,852,141	2,537,248

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,900,400	3,900,400
資本剰余金	2,882,058	2,882,058
利益剰余金	697,368	538,618
自己株式	△131,718	△131,718
株主資本合計	7,348,108	7,189,358
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,240	△1,353
土地再評価差額金	1,296,602	1,296,602
評価・換算差額等合計	1,294,361	1,295,249
純資産合計	8,642,470	8,484,607
負債純資産合計	11,494,611	11,021,856



(2) 四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	3,508,999	4,062,307
売上原価	2,921,372	3,277,083
売上総利益	587,626	785,224
販売費及び一般管理費	656,773	643,841
営業利益又は営業損失(△)	△69,146	141,382
営業外収益		
受取利息	—	6,863
受取配当金	—	198
助成金収入	6,123	14,910
その他	15,529	10,674
営業外収益合計	21,652	32,647
営業外費用		
支払利息	5,060	14,113
貸倒収入原価	2,692	—
その他	4,678	3,218
営業外費用合計	12,432	17,331
経常利益又は経常損失(△)	△59,926	156,697
特別利益		
固定資産売却益	—	13,949
貸倒引当金戻入額	4,724	—
退職給付引当金戻入額	—	35,739
その他	42	28
特別利益合計	4,766	49,718
特別損失		
固定資産売却損	—	525
出資金評価損	—	30,166
固定資産除却損	3,692	—
減損損失	3,464	—
その他	33	9,353
特別損失合計	7,191	40,045
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△62,350	166,371
法人税、住民税及び事業税	7,621	7,621
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△69,972	158,749

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）  
該当事項はありません。